

お問い合わせ先

海上保安庁交通部企画課

課長補佐 伊藤

(代表) 03-3591-6361 (内線6101)

(直通) 03-3591-5650

平成18年5月15日

海上保安庁

第16回国際航路標識協会 総会への職員派遣について

海上保安庁では、平成18年5月21日(日)から27日(土)までの7日間、中国上海市で開催される「国際航路標識協会※₁(IALA)総会」に^{ますだかずひこ} 柘田一彦 交通部長を団長として11名の職員を派遣します。

本総会は、協会の最高決定機関で4年毎に開催され、理事の改選、次回総会までの活動方針の決定及びIALA憲章の改正を行うものであり、理事会等のほか、各国からの研究発表、情報収集及び意見交換が行われる場となっています。

海上保安庁からも3件の研究発表を行います。

また、本総会に併せ、当庁所属の航路標識測定船「つしま」を中国上海市に派遣します。

この派遣は、開催国である中国の交通部海事局※₂から本総会の開催にあたり、この機会に各国の航路標識業務用船を招聘して交流親善等を図りたい旨の要請が当庁にあり、航路標識業務における国際性の重要さと隣接国としての協力、連携を深めるため派遣を決定しました。

※1 航路標識の改善と世界的な調和により船舶の安全と効率的な航海を助長する目的として、灯台その他の航路標識の設置又は維持に責任を有する機関等により構成する国際的な機関として1957(昭和32)年7月に発足したものであり、現在77カ国の機関が加盟しています。

海上保安庁は、1959年(昭和34)年に加盟し、1975(昭和50)年から理事を努めています。

※2 中国交通部海事局は、水上における安全監督管理及び船舶汚染の防止、船舶及び海上施設の検査等を所掌する組織であり、当庁とは、海難捜索救助業務、水路業務及び航路標識業務等においてカウンターパートとなっている。

【参考】

1. 海上保安庁が行う研究発表

- ・航路標識分野におけるマルチ発光システムの利用に関する調査研究
- ・新マイクロ波標識の開発に関する調査研究
- ・AIS表示装置に関する調査研究

2. 派遣船及び航海日程

(1) 派遣船

船名 航路標識測定船「つしま」

総トン数 1,706トン

乗組員数 35名 (船長：増子^{ますこ} 直行^{なおゆき})

(2) 日程 (予定)

平成18年5月16日 (火) 東京出港

21日 (日) 上海入港

22日 (月) 上海海事局表敬

23日 (火) 総会出席者及び上海日本人学校生徒に対する船内見学

24日 (水) 業務技術交流

28日 (日) 上海出港

6月 1日 (木) 東京入港

3. 海上保安庁と中国交通部海事局とこれまでの交流概要

(1) 平成16年度当庁観閲式及び総合訓練に中国海事局所属船「海巡21」が参加

(2) 当庁所属船の上海寄港の実績

昭和59年：巡視船「むろと」、「ちくぜん」

平成9年・14年：航路標識測定船「つしま」

平成17年：巡視船「さつま」

(3) 中国交通部海事局所属船舶の我が国寄港の実績

昭和60年 滬監巡 (コカンジュン) が東京、神戸、広島寄港

平成16年 海巡21が横浜寄港 (観閲式及び総合訓練に参加)

航路標識測定船つしま



航路標識測定船つしまでは、ロランC、ディファレンシャルGPS、AIS（船舶自動識別システム）などの機能の確認及びシステムの改善を図るため、有効範囲、誤差分布状況、電界強度、電波伝搬補正值など電波標識の解析評価のほか、灯台の光度測定やふくそう海域における通航船舶実態調査を実施しています。

全長	75.0m
幅	12.5m
深さ	6.4m
総トン数	1,706トン
最大速力	17.2ノット
建造年	昭和52年9月竣工